



SDGs アクションプランについて

このプランは、「誰一人取り残されることなく」いつまでも安心安全に対馬に暮らし続けられるよう、SDGs の視点から捉えた対馬の将来像、方向性、行動や仕組み等を示した計画です。

世界は今、ウクライナ情勢のように「国家間関係の危機」によって生じる食とエネルギーの高騰、世界的な人口増加や気候変動の影響等による「食料危機」等、グローバルなリスクにさらされています。こうした問題は、食とエネルギーの多くを外部に依存する対馬にとっては決して他人事ではなく、この島で暮らし続けていく上での最大のリスクになりつつあります。他にも海洋プラスチックごみや気候変動による自然災害の深刻化等、対馬単独では解決できない問題があります。このような地球規模の問題と、人口減少や超高齢化社会に耐えられる「持続可能なしま」にしていくための希望となるのが「SDGs」です。

SDGs は「Sustainable Development Goals」という英語の頭文字をとった略称で、2015 年 9 月に国連で採択された「世界中の人たちが目指すべき幸福のための共通目標」です。SDGs は「誰一人取り残さない」ことを原則に、環境保全、社会的包摂、経済成長の3つを調和させながら、諸問題を同時解決しようという特徴があります。当市も SDGs の視点で持続可能なしまづくりを推進するため、構想をまとめて国に提案し、2020 年 7 月に「SDGs 未来都市」に選定されました。


SDGs には、目標とターゲットがあるのみで、細かいルールはありません。国や地域の多様性が尊重され、将来像やその達成に向けたアクションを自由に考え、それぞれに合った方法で SDGs を進めることができます。取り組みの自由度が高

い分、具体的にどのように SDGs に取り組むのか、その方向性や行動、仕組み、ロードマップをみんなでも共有するための行動計画がなくてはなりません。その行動計画には、対馬の現状や潜在的な可能性を踏まえ、また、対馬の先を見据えながら対馬の未来を指し示すみんなの羅針盤としての役割が求められます。

そこで当市では、市民の皆様のご意見や有識者のご助言等をもとに、「誰一人取り残されることなく」いつまでも安心安全に対馬に暮らし続けられるよう、行政だけでなく、市民、家庭、地域団体、学校、企業など全員参加と協働のきっかけとなるような行動を示す「SDGs アクションプラン」を策定しました。

このプランは、行動理念のもと、対馬の将来像を実現するために重点的に取り組む7つのアクションと3つの土台、SDGs をみんなで起こすための仕組み、ロードマップによって構成されています。プランをご覧くださいことで、SDGs への理解を深め、実際に行動に移し、対馬の明るい未来を拓くきっかけになれば幸いです。



 対馬市長 比田勝 尚喜

誰一人取り残さないー行動理念と将来像ー

行動理念

SDGs を通じて環境・社会・経済の三側面を調和させ、これから起こりうるリスクを乗り越えながら、誰一人取り残さない持続可能な社会を形成します。

将来像

2050 年も島に誇りと高い幸福度を感じながら安心安全に暮らせ、持続可能なしまづくりのモデルとして日本・世界の見本となる島を目指します。



島への誇り



幸福・安心安全



日本・世界の見本となる島

行動理念で重要な4つのキーワード

- ・SDGs の原則「誰一人取り残さない」
- ・持続可能性
- ・環境保全、社会的包摂、経済成長の3つのバランス
- ・グローバルリスク（気候変動、感染症、生物多様性の損失、国家間関係の危機等）

対馬の持続可能性を高めるためのプラン構成

- 第1章 行動理念・将来像、SDGs の必要性と解説等
- 第2章 持続可能性を高める7つの重点アクション
- 第3章 SDGs 推進の仕組みづくり・人づくり
- 第4章 実現に向けたロードマップ
- 資料編 用語解説、プラン策定経緯